

平成20年度 第89回 教育研究審議会議事要録

日時 平成20年12月24日(水) 13:00~14:20
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 矢田学長、近藤副学長、松藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、板谷外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、稲月学生部長、木原国際教育交流センター長、赤塚学術情報総合センター長、田村入試センター長、吉塚地域貢献室長

- 配布資料**
- 1-1 教員採用選考報告書(国際環境工学部機械システム工学科)
 - 1-2 教員採用選考報告書(国際環境工学部機械システム工学科)
 - 1-3 教員採用選考報告書(国際環境工学部建築デザイン学科)
 - 2 学部等選挙実施要領(案)
 - 3 コミュニティ・コース規程の一部改正について
 - 4-1 教員評価に関する関係規程及び要綱の改正について
 - 4-2 教員評価関連規程関係図
 - 4-3 北九州市立大学教員評価委員会規程:新旧対応表
 - 4-4 北九州市立大学における教員の個人評価実施要綱:新旧対応表
 - 4-5 北九州市立大学教員評価委員会規程(案)
 - 4-6 北九州市立大学における教員の個人評価実施要綱(案)
 - 4-7 北九州市立大学教員評価委員会規程(現行)
 - 4-8 北九州市立大学における教員の個人評価実施要綱(現行)
 - 5 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第1号 教員の採用について

* 資料1-1のとおり、国際環境工学部機械システム工学科の熱力学及び熱機関工学分野担当の教員採用人事について、選考委員会から採用候補者(吉山 定見氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 資料1-2のとおり、国際環境工学部機械システム工学科の伝熱学及び物質移動工学分野担当の教員採用人事について、選考委員会から採用候補者(井上 浩一氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 資料1-3のとおり、国際環境工学部建築デザイン学科の建築環境エネルギー分野担当の教員採用人事について、選考委員会から採用候補者(葛 隆生氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 学部長等選挙実施要領について

* 資料2のとおり、学部長等選挙の実施要領について提案。

- 選挙実施要領7にある「病気休暇」に、「産前休暇」は含まれるのか。
- 選挙実施要領7で例示の「病気休暇」及び「国外に出張中」以外の者を有権者数に含めるか否かは、各学部・センター等の選挙管理委員会で判断することになる。
- 平成21年3月31日付の退職予定者9名（外国語学部1名、国際環境工学部4名、基盤教育センター3名、及び社会システム研究科1名）と平成21年4月1日付の異動予定者2名については、選挙権（異動教員は前の職場での選挙権）は有するが、被選挙権は持っていない点を確認したい。特に、4月1日付でキャリアセンターから基盤教育センターへ異動予定の眞鍋和博准教授は、基盤教育センターにおける選挙権及び被選挙権を有しない。外国語学部から社会システム研究科へ異動予定の田村慶子教授は、現在所属している外国語学部での被選挙権を有しないが、選挙権は有する。また、社会システム研究科では現在でも研究科委員会の構成員であり、研究指導教員であるため、選挙権及び被選挙権を有する点に注意願いたい。
- 基盤教育センターひびきの分室に所属する者は、基盤教育センターに所属する者として選挙権・被選挙権を有するので、この点も注意願いたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 コミュニティ・コース規程の一部改正について

* 資料3のとおり、コミュニティ・コース規程の一部改正について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 教員評価に関する関係規程及び要綱の改正について

* 資料4-1～4-8のとおり、教員評価に関する関係規程及び要綱の改正について提案。

- 実施要綱第3条にある「多角的で総合的に評価を行う」は、「多角的かつ総合的に評価を行う」と改めた方が分かりやすいのではないか。
- そのように改めることとしたい。
- 実施要綱第2条第4項に関して、公表されなかった過去3年分の研究成果は、教員評価の対象とならないのか。
- 原則として、実施要綱第2条第4項に基づき、研究領域は公表・非公表に関わらず、1年間の活動状況を報告することになる。ご指摘のあった点については、幅広く評価の対象となるように、ケースバイケースで判断することを想定している。

【議長】ご指摘のあった実施要綱第3条を改めることとし、提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 教員の海外出張について、資料5のとおり報告があった。
- ② 次回の審議会を1月13日（火）に開催する予定である旨、報告があった。
また、1月27日（火）に予定されている審議会は、15時から、ひびきのキャンパスで開催する予定である旨、報告があった。